

## 自己紹介

10月初めにトンガに赴任した鈴木潤といいます。トンガに来る前は、横浜に住んで30年以上になります。

日本では40年以上にわたって気象と環境のコンサルタントで働いていましたが、JICAのシニアボランティアに合格したので思い切って会社を辞め、ボランティアに参加しました。トンガでは気象局でボランティア活動を行っています。トンガの気象予報が少しでも国民から信頼されるようにお手伝いしたいと思っています。

こちらに来て1か月間トンガ語の研修を受けて日常会話の初歩を教わったのですが、歳のせいか憶えが悪く、またすぐに忘れてしまって、継続的な学習をしていない今は数字と単語を少し言える程度になってしまいました。

## 10月から11月にかけてのトンガの気候

10月初めにトンガに来てから、最低気温が20°C~23°C、最高気温が26°C~30°Cの日が続いており、日中直射日光に当たると暑いですが、朝夕は涼しく、とても快適な日々を送っています。借家に入居する際に大家さんがエアコンを設置してくれたのですが、自宅ではエアコンをまだ使用していません。

しかし、晴れていても毎日のように突然のシャワーがあり、天気予報でシャワーの有無を予報するのは難しいなと感じています。

## トンガで驚いたこと

トンガに来て驚いたことがいくつかありますが、そのうち今日はラグビーのことと家畜のことについてお話ししたいと思います。

まずラグビーの話です。

世界的なラグビーの戦いには二つの組織があり、一つはラグビーリーグ（13人制）、一つはラグビーユニオン（15人制）だそうです。日本のサンウルフズが参戦しているのはラグビーユニオンですが、ラグビーの盛んなトンガでは両方のリーグにそれぞれ1チームずつ参加しています。

この間、ラグビーリーグのワールドカップがあり、トンガは準決勝でイングランドに敗れましたが、初めてベスト4に入りました。この時の国中の盛り上がり方はすごく、トンガの試合がある毎週末は、テレビの視聴率が100%近いのではないかと思えるほど各家庭から歓声や悲鳴が聞こえてきました。そして、試合に勝った日には夜中まで街中大騒ぎでした。ラグビー選手が帰国した日には空港から街中までの沿道は国旗の色である赤に染まり（写真参照）、みんな赤いTシャツを着てMate Ma'a Tonga（マテ・マア・トンガ）（チーム名：“侍ジャパン”や“なでしこジャパン”と同じようなものだと思います。最初に記載したように、私はトンガ語がほとんどできませんが、辞書を引いてみると、トンガ語で「死ぬ気で戦え」とでもいう意味なのではないでしょうか？）の大合唱でした。

次の日は急遽国民の休日となったのには驚きました。選手は王様から勲章をもらい、街中をパレードです。すごい盛り上がりでした。準決勝進出でこの騒ぎですから、優勝したらどうなるのでしょうか。しかし、人口10万人あまりの小国が、チームスポーツの世界でベスト4に入るのですから、確かにすごいことだと思います。

2019年にはワールドカップが日本で行われますが、トンガでは再び盛り上がると思います。

先日、日本とフランスのラグビー親善試合がおこなわれましたが、職場の同僚から「日本がフランスと引き分けたね」と話しかけられました。他国の親善試合の結果まで知っているのですから、ラグビーのニュースには注意していないと職場の話題にもついていけません。テレビでも毎日のようにラグビーの試合を放映しています。



次に、家畜の話です。

私は首都のヌクアロファというところに住んでいますが、住宅地の中を犬、鶏、豚が自由に歩き回っています。

一応飼い主はいるようですが、放し飼いで、他人の土地も自由に歩き回っています。野犬もいるようで噛まれることもあるので注意が必要です（狂犬病の心配はありません）。今の時期は、犬も鶏も豚もたくさんの子供を引き連れて歩いており見るだけならほほえましい光景です。

こちらの家は一般に広い芝生の庭を持っていて、そこに犬、鶏、豚が共存して餌をあさっています。たまに猫もいます。私の家の隣の芝生の上でもこれらの家畜がのんびりと餌をあさっています（写真参照）。

こちらの家庭では生ごみを家畜の餌にするらしく、ごみの収集で生ごみはほとんど出ないようです（我が家は豚がいないので、生ごみを回収に出します）。ですから、市のごみ捨て場もあまり匂わないという噂です（確かめたことはありませんが）。

先日、フライドチキンの骨を犬にあげたら、バリバリとすべて食べつくしていました。たくましい犬たちです。

